



「美しさあふれる附属小に～心の中に自分だけの『ものさし』を～」

校長 橋元 忠史

先月号では、美しさあふれる附属小にするために、PTAテーマに即して周りの大人一人一人が心のアンテナを磨いていきたいと思いますといった内容を記しました。

実は以前から、「心の中に『アンテナ』と『ものさし』の二つをもてるようになるといいよ。」と子どもたちによく話をしていました。そこで今回は「もつべき『ものさし』とは？」にスポットを当ててみたいと思います。

人は、成長するに従って、また、年齢や経験を積むに従って物事や人との接し方のスタイルを徐々に自分の中に形作っていくような気がします。また、日常生活は常に判断の連続です。子どものうちは、あまり自由度がなく、判断する部分は少ないのですが、先に風呂に入るか、勉強をするかといった些細な内容であっても自分で決める場面は少なからずあるように思います。（実はこんな自己選択・決定場面をどれだけ意識的に位置付けるかが子育ての肝になるのですが、それはまた、次の機会に・・・）

一方、大人はというと苦情を言われたけど、どう対応するのがベストか？といった切実な案件から、懇親会に誘われたがどうするか？とか歩行中、落ちているゴミを拾うか通り過ぎるか？表情の浮かない同僚に声をかけるべきかどうか？などといったまあ、人によってはそもそも立ち止まって考えすらない（アンテナの感度）ようなことも含めると、軽重の差こそあれ、多くの判断場面があるのでないでしょうか。

最近、私は職員会議などの場でよく「マイブームか！」と突っ込まれそうなくらい「人生には正解はない。あるのは選択だけ。」と繰り返し話しています。あるかどうか分からない正解を考えていてもそこに辿り着かないうちに、次の課題がやってきます。生きるというのは選択場面の連続そのもの。まさしくそれが我々の人生です。そうすると、**判断基準となる要素がどれだけ明確に自分のうちにあるかが重要**になるかと。まるで長さを測るものさしのごとく、明確な基準となる何かが。人によってはそれが道徳や宗教であったり、親の教えであったり、知識・経験であったり。皆さんには、自分なりの「ものさし」があるのでしょうか。中にはYouTubeやGoogleと答える人もいるかもしれませんね。

さて、今年度の附属小PTAサブテーマである「『美しさ』を認め合い、親子で高め合う」の実現のためにも、心のアンテナを磨いて自らやお子さんの言動を見つめる前に、自分の基準となるものさしが確固たるものかどうか改めてお互いに確かめてみることも必要かもしれません。

最後に、私の中で最近明確になり、校長室入り口に掲げている「ものさし」を紹介して終わります。人がどうこうではなく、尊敬できる自分ならどう選択するか自分に問う。これで結構、納得感をもってスッキリと我が人生と向き合えるようになりました。

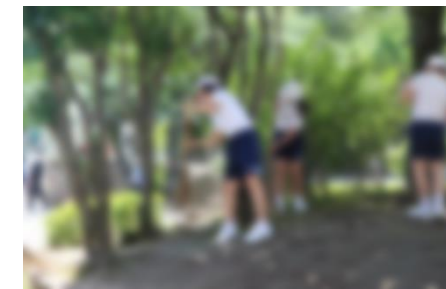


～美しさのあらわれる教育活動の推進～

● 学校で過ごすみんなのことを考えて～朝のちょボラ～

附属小学校の朝は、子どもたちの美しさをつくりだす活動が始まります。その一つが、子どもたちが「ちょボラ」と呼んでいるちょこっとボランティアです。正門周辺の落ち葉を集めたり、校舎内の廊下を拭いたりするなど、取り組む活動は様々ですが、どれにも共通して言えることは、みんなが過ごしやすいように他者のことを考えて行動していることです。

ちょボラに取り組んでいる子どもに、どんな気持ちで取り組んでいるのかを聞いてみました。



【朝からちょボラに取り組む姿】

- きれいになったら、ロータリーを通る人が気持ちよく通れると思い、ロータリーの落ち葉集めをがんばりました。 (5年男児)
- ちょボラをすると、朝からたくさん汗をかくけれど、気持ちがいい汗です。 (3年男児)

通る人がどんな気持ちになるか、心のアンテナをしっかりと働かせることが、美しさのあらわれた行動へとつながっています。附属小学校の朝は、子どもたちの美しさをつくりだす、すてきな姿であふれています。

● 同じ通子会の仲間で声を掛け合った集団下校訓練

6月13日（火）に集団下校訓練が行われました。今回の訓練は長雨や集中豪雨により各警報が出されたり、河川が増水したりすることを想定して行われました。また、今年度から引渡訓練ではなく、危険が迫る前に各通学子ども会に分かれ、担当職員と一緒に集団下校を行うという内容で行いました。

内容の変更があったため、下校の仕方に戸惑ったり、集合場所への行き方に困ったりすることを想定していましたが、スムーズに集合し下校を行うことができました。

子どもたちがスムーズに行動できた背景には、6年生が同じ通学子ども会の1年生を教室に迎えに行ったり、集合した際、上級生が不安を抱える下級生に、安心できる声掛けを行ったりするといった、相互に支え合う姿があると言えます。日常場面に限らず、このような想定外の活動の際にも、心のアンテナを働かせ、他者のために行動する美しい姿が広がっています。



【互いに声を掛け合いながら、安全に集団下校を行う姿】

【7月の主な行事】

3日（月）学年・学級PTA（高）	24日（月）教育相談（～28日）
4日（火）学年・学級PTA（中）	図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）
5日（水）学年・学級PTA（低）	25日（火）図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）
7日（金）図書返却（～11日）	26日（水）水泳記録会（6年生大会）
8日（土）自由研究、採集物講習・採集会	図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）
13日（木）夏季休業特別貸出（～18日）	27日（木）水泳記録会（5年生大会）
21日（金）前期前半終了 わくわくドキドキ集会	図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）
	28日（金）図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）
	31日（月）図書室開放（9:00～11:00, 13:30～15:00）